



京山だより

平成27年7月24日

第5号

京ヶ瀬小学校

TEL 67-2103

HPアドレス <http://kyogase-es.agano.ed.jp/>

E-mail kyogase@kyogase-es.agano.ed.jp

卒啄同機

校長 伊藤 義人

授業日数75日(1年生は74日)の1学期が今日で終わりました。1学期間の子どもたちの成長や努力について、お渡しした通知表をご覧になり、ぜひとも認め励ましていただきたいと存じます。また、明日から38日間の夏休みが始まります。まずは事故なく安全な毎日を、そして有意義な毎日を送ってほしいと願っております。

先日、「はじめてのお使い」という番組を見ました。幼い子がお母さんのお手伝いに一人で出かける様子を撮影したものです。25年目を迎えたこの番組を見るたびに泣いてしまいます。

何故泣いてしまうのか考えてみました。年をとって涙腺がゆるくなっているのは否めません。幼い子が「はじめて」のことに挑戦する、素直で前向きな姿に感動することが大きな原因です。立ち止まり、振り返り、独り言を言って自分を奮い立たせている姿は、壁を乗り越える自立した姿です。それに加えて、子どもを励ましながらも、手を出さず、じっと待っている親の気持ちに共感してしまうからです。時には突き放す勇気をもって、子どもの成長をうながしているからです。

「卒啄同機」(そったくどうき)という言葉があります。禅宗の言葉だそうです。「卒」はひな鳥が卵の内側から殻を突くことを言い、「啄」は親鳥がそれに即応して外側から殻を叩く行動をいいます。ひな鳥が卵からかえる時に、ひな鳥の発する気配を感じ取って、親鳥が外側から、殻を、コツ、コツと叩いて、ひな鳥が殻を割って生まれるのを助けることを表した言葉です。

教える側(教師)と学ぶ側(子ども)との関係も卒啄同機でありたいと思うのですが、しばしばずれてしまいます。教師の側から一方的に教え込む「啄」になってしまったり、子どもが一生懸命「卒」の行動を起こしているのに、教師の方が何の手も打たずに放っておいてしまったりします。そうならないように、夏休み中、教職員はいろいろな研修に励みます。

夏休みの宿題の他に、自由課題があります。一人一人の個性に合わせて、選んだ課題にチャレンジして欲しいものです。また、ご家庭におけるお子さんの卒は何か、親の啄は何かを考え、夏休みの生活を話し合ってみていただけませんか？

2学期、一段と成長した子どもたちに会えることを楽しみにしています。



安全で楽しい夏休みにしよう！

生徒指導部 瀬野 直樹

いよいよ、子どもたちの楽しみにしている夏休みを迎えます。この1学期、学級を越え、学年を越え、友達関係を築きながら、たくさんの行事に一生懸命取り組み、学校生活を充実させてきました。



さて、子ども向けの『夏休みのすごしかた』と保護者向け便りを先日配布しました。便りをもとに、お子さんと夏休みの過ごし方について話し合い、約束を確認してください。車（交通事故）・水（水難事故）・火（火事）・人（不審者）・お金（無駄遣い、おごり合い、カードの交換など）に気をつけて、きまりを守り、楽しい夏休みを過ごしてほしいと思います。

特に、命を守るという点において、以下の点については、繰り返し話題にさせていただきたいと思います。



<事故に遭わないために>

- ①歩行中、車道への飛び出しは絶対にしない。
- ②自転車に乗っているとき、しっかり一時停止をする。
- ③自転車の二人乗り、手放し運転などの危険な乗り方はしない。
- ④海、湖、川、池へは大人と一緒に行く。
- ⑤池、川、増水した用水には絶対に近づかない。



<自転車の乗り方について>

- 自転車は車と同じ**左側通行**である。
- 国道は自転車乗りをしない。国道を横断するときは、信号のあるところを自転車を下りて横断し、この時も必ず左右の安全を確かめる。
- 小路から出るとき、道路を横断するときは、**必ず一時停止をし、左右確認**をする。
- 自転車は1列**で走行する。（横並びにならない。）
- 前山地区←→京ヶ瀬地区に**、子どもだけで出かける場合は、必ず家の人の許可をもらうこと。

改正道路交通法が施行されて1か月になりますが、最も多い違反が信号無視、一時不停止だそうです。当校の子どもについても地域の方から「子どもが〈止まれ〉を無視して飛び出し、急ブレーキを踏んだ。」といった情報が寄せられたことも、生徒指導だよりでお伝えしました。翌日には全校児童に自転車乗り等交通ルールについて指導をしましたが、**もし、危険な行為や約束違反を目にしましたら、声をかけてください**。地域、保護者のみなさんの目で、子どもたちを見守っていただけるようお願いいたします。

「むし歯予防教室」 6月30日

学年	内 容
2年	6歳臼歯をきれいにみがこう
3年	前歯の外側・内側をみがこう
5年	歯肉の病気を知る
6年	お口の中全体がきれいになるようにしましょう



阿賀野市健康推進課と連携し、毎年「むし歯予防教室」を行っています。

歯科衛生士さんから歯みがきを上手にするためのポイントやみがき方について教えていただきました。子どもたちは、歯垢染め出し液で歯に付いている歯垢を確認した後、ハブラシの持ち方に気をつけ、鏡を見ながら真剣な表情で、歯垢を落としていました。

☆ 歯みがきを上手にするために

- ＜ハブラシ＞
- ・毛先や柄は、まっすぐでシンプルなもの。
 - ・毛の長さは、前歯2本分
 - ・毛先が広がってきたら、交換。

＜ハブラシの持ち方＞

- ・鉛筆持ち。（軽い力でみがく）

☆ むし歯にならないために

- ・砂糖の取り過ぎに注意。ジュースやスポーツドリンクには砂糖がたくさん入っているので、のどが乾いたときは、水かお茶を飲みましょう。
- ・下学年の子どもの口の中は、乳歯や生えたばかりの永久歯・抜けているところがあったりして、磨きにくいので、ねる前は、仕上げ磨きをしてもらいましょう。



京ヶ瀬小学校の避難訓練

いつどこで起こるか分からない災害。その災害から自分の命を守ることが大切です。そのために京ヶ瀬小学校では年4回の避難訓練を実施しています。

6月16日（火）に行われた第1回の避難訓練では、強い地震が起き、調理室から火災が発生したという想定でした。非常ベルによって地震の発生が知らされると、子どもたちはすぐに机の下に入り身を守る姿勢をとりました。その後の非常放送をしゃべらずに黙って聞くことができました。その後、クラスごとに「おはしもちて」の避難のきまりを守って全員が無事にグラウンドへ避難することができました。静かに整然とした避難ができたことがすばらしいと思います。給食では、避難食体験としておにぎり、バナナ、水のみで、空腹をしのぎました。



第1回訓練の避難の様子（1年生）



非常食体験（3年生）

第2回の避難訓練は、7月15日（水）に水害が起きたという想定で、高い所に逃げる垂直避難の訓練を行いました。非常放送によって校舎の3階に避難するように指示が出されると、1、2階に教室がある1～4年生は階段を使って3階の特別教室に避難しました。

これからの避難訓練は、9月に火災、2月に不審者対策を予定しています。

7/4 (土) 一日学習参観

7月4日(土)は、1学期最後の1日学習参観が行われました。保護者の皆様からは、朝から放課後までの子どもたちの様子をご覧いただきました。また、授業参観後は、学年懇談会を実施し、1学期の学習や生活・夏休みの過ごし方等について学校から説明するとともに、ご家庭から子どもたちの様子について様々なご意見や情報をいただきました。

学校では、今年も「学びを楽しむ子どもの育成」を目指して学習方法に工夫をこらし、学力の向上に全校体制で取り組んでいます。その成果が表れていのでしょうか。お忙しい中、大勢の皆様からおいでいただき、ありがとうございました。

いよいよ夏休みが始まります。熱中症の嚴重警戒が発令される中、学校では体調管理に努めています。子どもたちが事故やけがなく、楽しい夏休みが過ごせますよう、ご協力お願いいたします。



7/4 7/10 救急法講習会

7月4日(土)と7月10日(金)の2回にわたって、PTA体育委員会主催の救急法講習会が行われました。今年も、阿賀野市消防本部署員より、心肺蘇生法とAED使用方法について丁寧に講義と実技をしていただきました。あつてはならない水の事故。しかし、万が一事故が起きた時、どのように対処しなければならぬかを参加者全員が考え、積極的に学んだ2日間でした。



9月の主な予定

- 1日(火)始業式
- 2日(水)給食開始 コスモスタイム(自由)
- 3日(木)非常ベル訓練
- 7日(月)発育測定(低)
- 8日(火)発育測定(中) ALT 委員会
- 9日(水)発育測定(高) ALT コスモスタイム(学級)
- 10日(木)安全の日・街頭指導
お話の時間(低)
- 11日(金)避難訓練③(火災)
- 15日(火)全校朝会(陸上壮行会) クラブ活動
- 16日(水)市親善陸上大会
コスモスタイム(読み聞かせ)
- 17日(木)市親善陸上大会予備日
- 21日(月)敬老の日
- 22日(火)国民の休日
- 23日(水)秋分の日
- 25日(金)全校音楽集会(1年)
登山ボランティア説明会
- 28日(月)ALT授業
- 30日(水)コスモスタイム(班)



7/22 着衣水泳

学期末の水泳授業を締めくくる催しとして、全学年で着衣水泳を実施しました。例年どおり、阿賀野市消防本部署員の方からおいでいただき、水の事故から命を守るための実技指導をしていただきました。「自分の命は自分で守る」ことが大切です。夏休みを前にして、貴重な体験をすることができました。

